



読書の習慣を身につけることは、
人生のほとんどすべての不幸から
あなたを守る避難所ができる
ことである

——サマセット・モーム※

※William Somerset Maugham(1874～1965)…イギリスの小説家・劇作家。『月と六ペンス』で注目され人気作家となった。平明な文体と物語展開の妙で、最良の意味での通俗作家として名を成した。作品に『人間の絆』『お菓子とビール』などがある。

◆ 学校説明会報告(裏面には、日大豊山女子, 星野, 東京農大三, 城西大城西の報告があります)

【明治学院中学・東村山高校】へボン式ローマ字で有名な宣教師のへボン博士が1863年に開いた英学塾が同校の起源になります。現在でもその精神は受け継がれており、キリスト教精神にのっとった人間教育に重点を置くミッションスクールです。毎朝、礼拝があり、週1時間聖書の授業もあります▼英語教育には特に力を入れていて、開成などでも使われているプログレスというハイレベルなテキストを使用しています。校風はのんびりしていて、教師と生徒のつながりが強いのが特徴だそうです▼3年ほど前は卒業生の約半数が明治学院大学に進学していましたが、今年度は35%程に減りました。これは進学指導を強化した結果、何となく系列大学に行くという生徒が減り、他大学を受験する生徒が増えた結果だそうです▼今年度の浪人を含む他大学への進学実績は、卒業生255名(明治学院大進学を除くと163名)に対し、国公立9名、早稲田5名(昨年9名)、慶応1名(昨年4名)、上智2名(昨年12名)、GMARCH理科大91名でした。大学合格実績は入学時にほぼ同レベルの県立和光国際と同じくらいですが、受験者数が半分以下であることを考慮すると優秀だと思います。浪人は7.8%と少ないです▼教師の約4割はクリスチャンで、外国人講師が7名います。専任率は55%。外部受験をする高3生の多くは塾等に通っています。毎週小テストや補習もありめんどろみは良いほうです。成績上位80%の生徒は明治学院大に進学できます▼新しくはないものの清潔感のある校舎で、落ち着いた雰囲気のある学校です。進学だけではなく、バランスのとれた学校生活を送りたい生徒にお薦めの学校です。(下山)

【城西大川越中学・高校】川越駅からスクールバスで30分ほどのところにある男子の進学校です▼中学・高校両方の説明を聞きましたが、どちらも「面倒見の良さ」を強調していました。自分でなかなか勉強ができない生徒は夏休みに学校に来させて宿題などをやらせるといった話もありました。ただ、後から確認したところ、これは先生の裁量の範囲でやっているということでしたので、受け持つ先生によって差があるようです。授業後の補習や長期休暇の講習はシステムチックに行われています(講習会は任意、1講座1000円です)。部活の後も補習や質問・自習ができるようになっていて、自宅では勉強が

はかど 抄らないという生徒にとっては良い環境が整っているように見えました▼説明を担当した先生は皆若く、熱意・勢いを感じました（専任の先生の平均年齢は30歳代、また専任の先生は全体の80%）が、進学実績は今のところ良いとは言えません。300名前後の卒業生に対して、国公立、早慶上智ともに20名前後の合格数です（ここ数年は同じような実績が続いています）。通塾率は高1で15%、高2で30%、高3で50%と、やはり学年が上がるほど高くなります。ただ、前述のように、先生方は熱心に面倒を見てくれるようですので、そういう進学校を志望するのなら、検討する価値がある学校だと思います。

- 国公立28名、早慶上理46名、GMARCH130名、医歯薬56名（延べ、重複あり）
- H27中入試第2,4回は標準学力重視型（基本問題の出題が多い）
- 中入試は特別選抜入試で、一般クラスでのスライド合格がある（入部）

【浦和実業中学・高校】JR武蔵野線「南浦和駅」西口より徒歩15分。1946年に珠算・簿記・英語の私塾として創設された学校です。現在は「実学に勤め徳を養う」といった校訓を掲げる共学校になっています▼高入生は今春、851名いました。うち250名は商業科です。最上位の特進選抜コースは週3回7時間授業があるので、自ずと部活動が制限されてしまいます▼挨拶の徹底や服装・頭髪など生徒指導は厳しいようです。「安心・安全」な学園生活を実現するために、メール配信システムや登下校時交通安全指導といったことはもちろん、「ハイスクールライフ」といった、担任と生徒がやりとりをする交換日記があります。このように日常的なコミュニケーションを密にすることで、いじめの芽を早期に摘むことが出来るそうです。また、いじめに関するアンケートは年2回、体罰に関するアンケートは年1回実施しています▼学習指導に関しては、放課後2時間の進学補習講座（1講座半期で3000円）や夏季補習（無料）を実施し予備校に行かずに学校だけで「完結」できるようにしているそうです。教員は150名ほどいて、70名ほどが専任です。通塾率は把握していないとのことなので、実際に「完結」しているかどうかはわかりません▼安易にA0入試や推薦入試で決めてしまうのではなく、困難に打ち勝つ力をつけるためにも一般入試で挑戦するように指導しているとのことでした。60%以上が一般入試で決めているそうです。ただし、商業科は簿記などの資格を利用してA0入試や推薦入試で60~70%が進学します▼浦和実業はハワイ島ヒロ市に宿泊施設があります。高2生全員がここで2週間の短期留学をします。常時滞在している教員4名が現地スタッフとともに、入れ替わり訪れる生徒たちを迎え入れます▼中学は2005年に開校しました。高入生とは別組織、完全中高一貫です。生徒募集は苦戦を強いられているようです。現在、中1生は56名、中2生は85名、中3生は104名となっています。専任教員36名のうち6名がネイティブです。1クラスを担当と2人の副担任（うち1人はネイティブ）でみていきます。実技科目の授業にもネイティブを参加させ、チームティーチングを行っています。ネイティブと一日を共に過ごすことで「使える英語」を身につけさせようとしています。今春の卒業生、4期生（在籍66名）は3分の1の22名がGMARCH以上に進学しています。

（加藤）



行事予定

- 11/2 中3 北辰テスト □ 11/3 小6 首都圏模試 □ 11/4 創立記念日(休講)
- 11/15~21 (日曜は除く) 小・中1・2 父母面談 (ご父母と担任教師、マンツーマンの面談)
- 11/22~29 期末テスト対策週間 (詳しい日程表は後日配布します)
- 12/7 第7回中3 北辰テスト (11/10~15までに受験料4400円を持ってきてください)【編集/加藤】

◆ 学校説明会報告

【日大豊山女子中学・高校】日大豊山女子中・高は、東京板橋区にある日大の付属校です▼学校選びにはさまざまな要素がありますが、そのうちの一つが「進学校」か「付属校」か、という切り口です▼ただ、「付属校」であっても、卒業生のほぼ全員がそのままエスカレーター式に併設大学に上がっているわけではありません。内部進学の高水準が高く、全員が上に進学できるわけではない「付属校」もあります。また、多くの付属校では他大受験にも力を入れており、実質「進学校」と化している「付属校」もたくさんあります▼この意味で、本当に考えるべきは「付属校」がどうかではなく、大学への進学において「挑戦」を取るか「安定」を取るか、ということになります。この基準で考えた場合、日大豊山女子は「安定」側にパラメータを全振りした学校であると言えるでしょう▼豊山女子の平成25年の卒業生のうち、四年制大学に進学したのは約90%。かなり高い数字です。うち日大に進学したのは約60%で、日大進学希望者はほとんどがいずれかの学部に進学できています。進路未決定者が全体の5%程度しかいません。これは安心感があります▼卒業生の30%は他大を受験しています。しかし、この「受験」の内訳をよく見ると、ほとんどが推薦入試です。日大への進学も推薦ですから、8割以上の生徒が推薦で進路を決めることになります。私の参加した学校説明会でも、大学受験指導の話などは一切ありませんでした。学校側もあまり一般入試のことは考えていないようです。ちなみに、昨年度、国公立大学に進学した生徒は1名です▼四大進学率が90%を超える学校はたくさんありますが、「日大レベルの大学で90%」を達成している学校はそうはありません。説明会で学校側が「こんな生徒に来てほしい」とあげた項目の筆頭は、「学校行事・部活動“命”の生徒」でした。中途半端に進学校色を打ち出す学校よりも、スタンスがはっきりしていていいと思います。確実に進路を決めて学校生活をのびのびと充実させたい生徒にはおすすめの学校です。(角)

【星野学園中学・星野高校】星野学園中学・高校は川越にある私立の学校。女子部と共学部が別々になっています▼説明会での校長先生のお話は、星野の全人場育についてのものでした。成果主義に陥りがちな現代において、星野学園では生徒一人ひとりの個性を大切にしていきたい。世の中に出れば、どうしても数字や結果で判断される場面が出てくるが、少なくとも星野にいる間は「全員が主役」であるようにしたい、とのこと▼個人的には、星野という学校は非常に「かつちり」した学校だという印象をもっています。例えば、現役合格率が97%を超えるというのは極めて高い数字で、星野という学校の特長がよく出ています。また、卒業時の皆勤率が45%と、これもまた非常に高い数字で、「らしい」と感じます。部活は全員加入。服装など生活面での指導も厳しいようです▼このように、生徒に対して学校が目が行き届いていることは、入学するうえでの安心材料だと思います。一方で、生徒自身はやや窮屈に感じることもありうると思います。そのあたりは好みの問題ですが、よく検討しておきたい部分です▼星野は施設面でも充実しています。全館冷暖房の校舎、1500人収容の大講堂、温水プールなど。図書館の蔵書50,000冊超も立派な数字です(なお県内トップは、県立伊奈学園の80,000冊超のようです)。個人的に、「校舎内に芸術作品がたくさんある学校」といって思いうかぶのがこの星野と西武文理なのですが、星野のほうが作品のセンスがはるかに上ですね▼共学部は全972名中、男子が332名。男女比1対2。元女子高なのでやはり女子が多いのですが、もう気にならないレベルかもしれません▼全体としては、手がたい私立高という感じですが。特に公立入試の併願校として、校風が気に入ればお勧めできます。また、単願の形ですと、塾推薦などもあって北辰偏差値50前半から入れるようになるので、検討する価値があると思います。(角)



【東京農大第三中学・高校】 創立 30 周年を迎えた東京農業大学の付属校です。東松山市に位置し、ありていに言えばとても田舎にあります。東武東上線の東松山駅から 8:10 にスクールバスが出て、約 10 分で学校に到着します。学校側は通学のし易さを強調していました。中学生は給食を実施しています▼H26 年度は卒業生 397 名中 118 名が東京農大に進んでいます。農大の進学基準は通知表の平均が 3.2 以上で、80%以上の生徒が満たしているそうです。浪人を含む国公立大学合格者は 18 名、早稲田は 5 名、慶応は 0 名(去年は 2 名)、上智は 0 名(去年は 3 名)でした。学校としては農大進学と受験の両方に力を入れていると言っていますが、現状では進学実績をみる限り、受験についてはまだ不十分だと言えます。来年度は中入生が初めて受験をするので、国立、早慶を伸ばしたいと言っていました▼実学教育を重視し、理科教育の一環として、バター造りや味噌作り、また、英語教育のためのアメリカサマーキャンプやニュージーランドホームステイなどを実施しています。ホームステイは希望者のみですが、70%前後の生徒が行っているそうです。勉強、勉強ではなく、人間性を重視した指導をしているように感じました▼中学入試は国算 2 科目の上位 8 割と 4 科目の上位 8 割を合格にします。従って、4 科目受験者は 2 回チャンスがあることとなります▼高校は 3 コースに分かれ、内申 5 科 16、偏差値 58 から併願推薦をとることができます▼他大学の可能性も残したいが、農大でも良いという生徒に向いている学校です。(下山)

【城西大学附属城西中学・高校】 有楽町線「要町駅」より徒歩 6 分。特進クラスを作らない共学校です。「あえて能力別クラス編成をしない」という方針でやってきました。そのためか進路実績が芳しくないのは否めない事実でした。1 年前加藤校長が就任し、これまでの方針は変えずに、できるかぎり生徒の希望を実現させようと改革を始めています。まず、自習室を 8 時まで開放しています。担当教師が監督し、質問もできます。40 名ほどで満席になるので、教室を使わせることもあるようです▼また、夏期講習を充実させました。これまでとは違い、教師にある程度自由にやらせるようにしたそうです。従来は 10 日間ほどでしたが、現在は 20 日間やるようになっています。先生によっては 28 日間おこなう場合もあるようです。「薬学ゼミ」など城西の先生のオリジナルテキストでおこなうような講座もあります。以前は外部の講師を招いた講座だけだったように思いますので、確かに変わり始めたような印象をもちました▼生徒たちの意識も変わり始めているようです。勉強合宿の募集をすると、これまでは何回も声をかけないと集まらなかったようですが、今は 1 回の募集ですぐ満席 (42 名) になってしまうそうです。数年前までは生徒の雰囲気はのんびりとしたものだったようですが、今は GMARCH へのこだわりをもつ子が増えてきたということでした▼ここ 4 年の GMARCH の合格実績は 11 名→24 名→22 名→32 名となっています。2013 年度卒業生 (244 名) の合格実績は 32 名ということですが、進学者数は 25 名ほどだそうです (正確な数字はわかりませんでした)。高校 3 年間の評定平均 3.0 以上なら系列大学への推薦が利用できます (薬学部なら 3.5 以上)。実際に系列大学に進学している生徒の割合は以下のとおり。城西大学に進学している生徒は全体の 4.9%、城西国際大学は 1.2%、日本医療大学は 0.8% です。その他の 4 年制大学は 70.4%、専門学校は 7.8%、短大は 2.1%、就職は 0.4%、その他は 12.4% となっています。とくに力を入れている薬学系には 9% (22 名) が進学しています。多くは日東駒専 (43 名) や大東亜拓栄帝国 (84 名) といった大学に進学しています▼専任の教員は 60 名、非常勤は 30 名ほどになっています。通塾率はとくに把握はしていないとのことでしたが、3~4 割は行っているのではないかとということでした。生徒にあったスタイルがあるので塾・予備校を利用するのもよいのではないかと。何が何でも学校だけで完結させたいとは考えてはいないようでした。「学びの自由」という方針のもと、生徒たち自らに自分にあった方法を選ばせたいという気持ちが働いているようでした▼学校の方針や雰囲気が気に入った人にはよいかもしれませんが、進学実績や併願の目安 (偏差値 60、内申 5 科 20) を考えると、私にはあまり魅力的には感じられませんでした。(加藤)